

## 郵政民営化委員会（第97回）議事要旨

日時：平成25年2月1日（金）15：30～16：45

場所：永田町合同庁舎3階 郵政民営化委員会室

（委員5名出席）

### 1. 概要

①郵便事業・物流業の現状について

②郵便再生に向けた取組について

上記2点について、日本郵便株式会社からの説明と質疑応答があった。

### 2. 委員会での意見等

#### （1）日本郵便株式会社及び日本郵政株式会社からの説明

○ 資料97-1及び資料97-2により説明

- ・郵便事業・物流業の現状については、郵便物数の減少、宅配便市場における厳しい競争環境の中で、依然として厳しい経営状況
- ・平成22年7月の宅配便事業統合の混乱等による経営状況の悪化に対しては、人件費の圧縮などの経営努力により改善しつつある
- ・このような現状の中で、郵便の黒字体質の定着とゆうパックの黒字化に向けた経営改善に取り組んでいるところ

といった説明があった。

○ 日本郵政株式会社の株式上場の準備状況

- ・上場準備室を設置して、上場審査で問われるガバナンス体制などの課題の洗い出し作業に着手
- ・過去に上場アドバイザーであった野村証券株式会社との契約を再開したところ
- ・今後、専門的な助言も得ながら準備作業を進めていきたい

といった説明があった。

#### （2）委員からの意見等

- ・効率性の追求とユニバーサルサービスの充実のバランスが重要
- ・買い物支援の需要は買い物難民など都市部でも多いと思うが拡充の余地はあるか  
（→試行結果を踏まえて検討）
- ・郵便物数の減少要因は何か  
（→メールの普及等による通信手段としての役割の低下など）
- ・利用者のイメージ向上のため、ゆうパックブランドの確立が重要であり、BtoCのための営業体制の拡充が必要
- ・郵便物数が減る中で、ICTの活用など新規サービスに取り組む姿勢を評価したい

といった意見や要望があった。

(3) その他

・次回会合は2月22日の予定  
との発言があった。

以上

(注) 議事要旨は事後修正の可能性があることにご留意下さい。また、詳細については追って公表される議事録をご覧下さい。